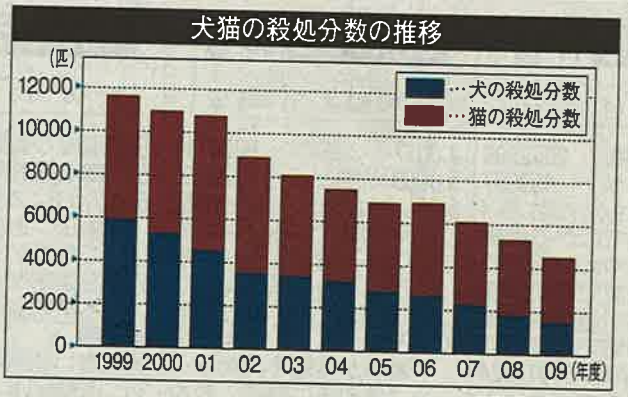
陽新聞　新聞定価（消費税込み）月ぎめ朝夕刊3,925円・朝刊3,007円・1部売り130円　第3種郵便物認可

年間5000匹 悲しい最期

失われる小さな命 岡山のペット事情

■上■



全国で約2200万匹（ペットフード工業会推計）が飼われ、暮らしに寄り添う犬や猫。パートナーとして欠かせない存在とされる一方で、飼い主の都合で失われる命も少なくない。動物愛護週間（26日まで）を機に、岡山県内の現状と対策をリポートし、共存の在り方を考える。

殺処分 半数が飼育放棄

「ドリームボックス」。甘い響きの通称とは程遠い、無機質な空間が口を開けて待っていた。

間口1・5㍍、奥行き1・2㍍、高さ1㍍ほど。誘導機で犬舎から送り込まれた犬が、最期を迎える場所だ。

ボックス内で静かにたたずむ十数匹が、モニターに映る。炭酸ガスが注入され、約1分後―。異変に気づいた表情に変わったかと思った瞬間、折り重なるように次々と倒れ、目を閉じて動かなくなった。

脳死まで20分ほど待ってから、死骸は焼却炉へと向かう。800度の高熱で3時間程度焼かれ、最後はわずかな白い灰になる。

岡山県動物愛護センター（岡山市北区御津伊田）の保護棟。収容期限を迎えた犬が週1、2回、ここで殺処分されている。

■□

処分の対象は、愛護センターと岡山、倉敷市両保健所の計3施設で捕獲した野犬に加え、飼育放棄した飼い主から引き取ったり、捨てられているのを収容したペット。2009年度の処分数は4506匹で、10年前の1999年度（約1万1600匹）と比べ半減したものの、年間5千匹前後で推移している。

ズーム 犬猫の収容　野犬、迷い犬は都道府県や中核市以上の自治体が狂犬病予防法に基づき捕獲。猫は放し飼いが多いこともあり、捨てられた子猫以外捕獲しない。飼い主からの持ち込みは、岡山では県動物愛護センターと岡山、倉敷市保健所で受け付けるほか、9保健所、支所で月1～4回、県が回収している。

愛護センターによると、収容した犬、猫のうち、殺処分の道をたどるのが9割。新しい飼い主に譲渡されたり、飼い主に返還されたケースはわずか1割程度にすぎない。

「引っ越し先がペット禁止」「犬が年老いた」「子犬（猫）を産んだ」。収容数の半分を占める「飼い主の飼育放棄」の主な理由だ。中には「飼い主をかんで困る」「ほえないので番犬にならない」など、しつけ不足や身勝手さが原因とみられる内容もある。

愛護センター愛護課は「飼い主が急に亡くなるなどやむを得ない事情もあるが、他の飼い主やペット可の住居を探したり避妊・去勢手術をするなど、動物愛護法で定める責務を果たしていない場合が多い」と指摘する。

■□

引き取りを依頼する飼い主に対し、愛護センターなどでは思いとどまるよう説得もする。ただ同法に「所有者から求められたときは引き取らなければならない」との規定があるため、「『二度と繰り返さないで』と呼び掛けるのが精いっぱい」（倉敷市保健所）なのが現状だ。

持ち込みは一般家庭からだけではない。「見た目が悪い子犬や出産できなくなった老犬など、商品価値の有無で処分に出すブリーダー（繁殖家）もいる」と岡山市のペット業者は明かす。

劣悪な環境で飼育されたり、捨てられるペットも後を絶たない。8月下旬には、岡山県吉備中央町尾原の山中で、小型の愛玩犬16匹が遺棄されているのが見つかり、愛護センターに保護された。

「飼い主に見放され、捨てられるケースを考えると、殺処分に対する思いは複雑になる」。愛護センターの国近寛康所長は視線を落とす。

近づくと集まってきた、犬房に収容された犬。数日後に殺処分された＝岡山県動物愛護センター

窃盗容疑

逮捕の少年逃走

坂出、病院で手錠外す

坂出署は20日、バイク1台を盗んだ窃盗容疑で逮捕した住所不定、無職の少年(17)が、診療のため護送した病院から逃走したと発表した。香川県警が緊急配備し、行方を追っている。

同署によると、同日昼に逮捕した少年がその後、腹痛を訴え、坂出市文京町の市立病院付けていたため、引っ掛かって追跡できなかった。もう1人は、少年がなかなか出てこないため、外の護送車へ応援を呼びに行っていた。病院の防犯カメラに、非常口から逃げる少年が映っていた。

少年は急性胃腸炎と診断された。窃盗容疑を認めていた。